

農業後継者育成基金事業

平成 24 年度 農業大学校助成事業（就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立農業大学校

1 目的

本県の農業を担う人材を育成、確保することは重要な課題である。本校の非農家出身の学生が増加する中、経営基盤の整っていない学生の間では、専門的な知識を活かせる職場として、農業法人への雇用就農に対する関心が年々高まっている。

そこで、県内の農業法人の第一線で活躍する経営者の講話ならび農業法人等を研修することにより、非農家出身の学生の雇用就農への意欲喚起及び就農促進を図る。さらに、農業後継者として就農を希望する学生には、地域のリーダーとして活躍が期待されており、課題解決に積極的に取り組み地域農業の活性化に貢献する青年農業者グループと意見交換することで、就農後の青年農業者としての活動のあり方を学ぶ。



2 実施状況

(1) 先進農家等による講話

(株)さかうえ 代表取締役 坂上 隆氏

講演では、学生時代から今日までの体験談を熱く語っていただき、農業法人の魅力が伝わった。学生たちは「目標に向かって努力を続けたい」と述べるなど、「やる気」を引き出した。



(2) 先進農家等への視察研修

(株)さくら農園、霧島市溝辺観光農園(霧島市)

植物に真摯に向き合う経営者の話を聞き、日々の栽培管理の大切さを改めて感じていた。また、消費者の声を直接聞いて、経営改善のヒントになることも学んだ。



奄美柑橘クラブ(奄美市)

卒業後に就農する学生にとっては、タンカン栽培の課題解決に向けての取り組みと農業後継者としての体験談や就農後の青年農業者のあり方を学び、将来、本県を担う青年農業者間との交流も図られた。

(3) 今後の課題、取り組み

24年度の卒業生のうち、就農者51名(就農率52%)で直近5年の平均38名(同35%)に比べて、かなり高かった。今後も、本県を担う人材の育成、確保のために、本事業を活用し、就農促進の取り組みの充実強化を図る。